

# お寺の子ども会 西教寺進徳 だより

日曜学校

西教寺蔵本通支坊 2013. 8. 7 呉市中央 7-7-13 Tel 21-2798 E-mail:nikkou@saikyoji.net

7月

## 紙芝居「蜘蛛の糸」と椅子取りゲーム



四月五月六月と大きな行事が続きましたが、七月は久々に通常通りの子ども会でした。

おつとめの後は、紙芝居「蜘蛛の糸」。作者はご存知芥川龍之介。

紙芝居（読み聞かせ）やラジオドラマは、テレビに比べると圧倒的に情報量が少ないメディアです。しかしそれだけに、足りないところを想像力を働かせて見たり聞いたりしているように思います。見たままのテレビと違い、その分だけ豊かな心の世界を味わえるように思いますし、心を豊かに育てる気がします。



ちなみに、日本小児科学会の調査では、テレビやビデオを長時間見ている子供は、そうでない子供に比べ、言葉の発達が遅れる割合が二倍になるという結果が出ています。アメリカの小児科学会でも同様の結果が出ていて、回会では、すべてのメディアへ接触する総時間は一日二時間まで、テレビゲームは一日三〇分までが目安としています。うちの子は納得しないでしょうけど…(汗)。

話を戻して、紙芝居の後は内容をおさらい。

誰が出てきましたか？

子「カンダタ！ お釈迦さま！」

—どうして糸が切れたと思う？

子「自分だけ助かろうとしたから！」



椅子取りゲーム優勝は塩田英資くん。

—みんなだったら、どうする？

子「みんなでいっしょにお浄土へ行こう！」

—へえ。糸は切れないかな？

子「切れない！」

—じゃあお家でも「これは私のお菓子だから食べてはだめ」と言わない？

子「…」。

蜘蛛の糸は、自分だけ助かろうとしても、幸せにはなれないという道理を教えてください。そしてそれは逆に、我さえ良ければ良いという恐ろしい性根(煩惱)を、カンダタを通して自分自身にも持つていることも感じさせてくれます。こんな心の世界を感じるのには、私はビデオよりも紙芝居の方が効果があると思うのです。

続いて椅子取りゲーム。音楽は「あまちゃん」。みんなノリノリでした。後でよく考えたら、自分だけ生き残るゲーム。

さっきの話(蜘蛛の糸)と矛盾しとるやろ！

次回お寺の子ども会は、

9月8日(日) 9時~10時  
です。